

司書が選んだ！
今年の3冊～一般書編～ p. 1・4

お知らせ／募集／展示／講演会／交流会／
こども向けイベント／おはなし会等
p. 2～3

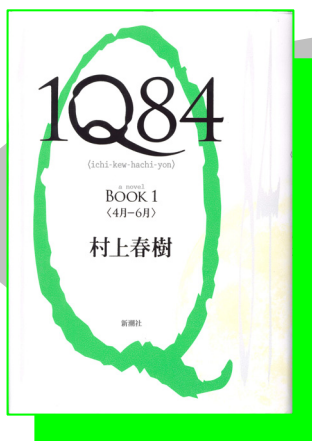
ホームページ
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/library/>

2010年1月号

司書が選んだ！

2009 今年の3冊 ～一般書編～

今年も多くの本が話題となりました。「小説」「社会科学」「自然科学」のそれぞれの分野から3冊ずつ、司書が選んだおすすめの本を紹介します。



今年話題の作品といえば、やはり村上春樹の『1Q84』はずせません。著者7年ぶり『海辺のカフカ』以来の長編小説。発売日まで内容はシークレット。それでも発売前から予約が10万部を超え、一気にベストセラーになりました。10歳の時別れたはずの二人、別々の人生を歩んでいた二人の物語が、いつしか絡み合ってしまう。われわれの知らない1984年を描いた近過去小説。

小説

社会科学

小熊英二氏の本（『単一民族神話の起源』『民主と愛国』）はいつもぶ厚い。それは、既成概念の根本を疑い検証するために、あらゆる資料を徹底的に洗い直すから。今回、彼がターゲットとしたのは「あの時代」。何故、今、1968年なのか。一東大闘争から始まった70年代学生運動が、現代にもたらす意味への問いは、村上春樹の『1Q84』とも呼応します。



自然科学



毎月すぐれた本が出版された自然科学分野からは、刺激的で啓発的な本を。『進化する存在証明』は生物進化の証拠と事例を豊富に紹介しますが、単なる入門書ではなく、アメリカなどで今なお強固な反進化論に対する批判を意図した、闘争的な読み物です。

>> 4面につづく

※児童書・ティーンズ編は、2009年12月号で特集しました。